

令和5年度第2回総合型地域スポーツクラブ専門委員会

総合型地域スポーツクラブ登録審査会議事要旨

日時	令和5年9月8日（金）午後2時から午後3時30分
場所	県民総合運動公園陸上競技場1階102会議室
出席者	水野修身、吉田勝彦、山口 清、河野真介、有働秀樹、松田直浩 西村浩二、野島弘宣、太田黒尚子
会 議 内 容	
1	開 会
2	あいさつ（水野委員長）
3	議長選出（水野委員長）
4	内 容
	<p>（1）総合型地域スポーツクラブの登録状況及び登録審査について（資料P1～6、別紙）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から、登録制度の概要及び手続きに説明。 ・令和5年度登録申請状況、全国登録に係る基準、今後の登録審査に関する手続き、令和6年度の登録方法、今後の課題について説明。 <p>—意見あり—</p> <p>（水野委員長）昨年度登録していて今年度登録しないクラブが1クラブあるが、理由は何か。</p> <p>（事務局）I・YOUスポーツ&カルチャークラブについては、行政担当者がスポーツ庁に本登録制度について問い合わせをされたとのことで、そこで大きなメリットがないと判断されたため、登録を見送る旨連絡があった。</p> <p>（吉田副委員長）登録に関するメリットがなければなかなか登録クラブは増えないのではないか。具体的なメリットの提示が必要。</p> <p>（事務局）全国的にも登録メリットがないことは課題となっている。都道府県で独自に工夫して取り組んでいる現状。</p> <p>（水野委員長）元を辿れば、そもそも総合型クラブのガバナンスやコンプライアンスの意味合いでこの登録制度が始まったと認識している。しっかりしたクラブであるということを表示するのにこの登録制度を活用いただけるよう、促す必要がある。</p> <p>（松田委員）総合型クラブは様々な公的支援を受けているため、透明性のある組織として、登録手続きは必須であると思う。</p> <p>（山口委員）登録基準の中で、指導者資格についてはハードルが高いが、その他の基準については大半の総合型クラブはできていると思うし、できていないといけないうらう。</p> <p>—協議の結果—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在不備があるクラブや未提出クラブも含め、事務局で精査し、9月27日までに日本スポーツ協会に申請できるクラブについては登録クラブとして提出する。 ・JKAトレジャークラブは、SCS火の国クラブネットに加入いただき登録を受け付ける。 ・登録基準についてSCS火の国クラブネットへの加入は条件から外さないことで進める。 ・令和6年度の登録手続きについては、令和5年度に登録手続きをさせていただいたクラブは、同書類での手続きとし、令和6年度の登録の意思確認のみ行う。令和6年度新規で登録をする場合、審査を行う。 ・行政もクラブも承認手続き及び全国登録に係る理解が十分ではない。令和6年度からは、年度当初にクラブ承認手続き（行政との面談及び総合型クラブとしての承認）を行い、その後、承認を受けたクラブに全国登録の手続きを案内するスケジュールに変更する。 <p>（2）総合型地域スポーツクラブの育成支援について（資料P7～9）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から、県内クラブ、準備団体、自治体の現状及び課題の共有。 ・令和5年度も登録クラブに対して、指導者資格取得に係る補助事業を行う旨説明。 ・内容について意見聴取。 <p>—意見あり—</p> <p>（河野委員）指導者資格取得以外に補助金の項目等ニーズはあるか。</p> <p>（事務局）クラブに聴き取りしただ際は、指導者資格の取得に関する補助のニーズがあったため、現状の補助要項であるが、今後も引き続きニーズを探っていきたい。</p>

(松田理事) クラブの事務局を行政がしているところがどれくらいあるのか。業務として行っているのであれば登録されないのはうなずけるが、そもそも総合型クラブは自主自立するものではないかと思う。

(事務局) 熊本市以外のクラブで、行政が事務局を担っているクラブは人吉・球磨エリアに多く、他の市町村にもある。行政としても自立を希望されるが、財源の課題等でなかなか難しいという声がある。

—協議の結果—

・クラブの状態も様々であるため、個々のクラブや自治体の現状に合ったアプローチが必要であり、行政が事務局を担っているクラブに対しては、今後のビジョンを聴き取り、目指す姿に合った活動や経営ができるよう促していく。

5 その他

(河野委員) 長嶺町にインターナショナルスクールが新たにできたが、菊陽町や合志市等、TSMC関係で外国人との関わりも出てくると思われるが、総合型クラブでもそのような動きがあるのか。

(事務局) 菊陽町では行政からクラブに対して台湾人の受け入れに係る教室開設等を相談されたとの声は聴いている。合志市や大津町等の近隣と連携した受入等もできるのではないかと事務局レベルでは話したが、実際の動きはこれからかと思われる。

(事務局) 本会で実施した「子どもたちのスポーツ環境を考えるセミナー」の報告及び「安心してスポーツ活動をするための危機管理セミナー」の開催について情報提供。

6 閉 会

